



Since
1927

FY3/2022

2027

2022年5月26日



(証券コード:7995)

株式会社バルカー

説明会 ▶ 2022年3月期決算
▶ 中期経営計画NF2023



Hard & Service

Tech & Electronics
General Machinery

Transportation System
Chemical & Energy Plant

* 本資料上の予想・計画数値は、作成日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります。
* 本資料上の変動率 (%)の算出にあたっては、可能な限り円単位に基づいた計算をしており、百万円単位での計算とは異なる場合があります。



- ▶ 2022年3月期
連結決算・事業概況
- ▷ 新中期経営計画NF2023
概要・経営目標数値・戦略
- ▷ 2023年3月期
予想・計画

- 事業環境の好転と攻守戦略効果の現出により業績が拡大
- 過去最高の連結業績を達成、NF2022経営目標数値を1期前倒しで到達

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
売上高	48,212	44,717	53,167 (+18.9%)
営業利益	4,214	3,475	6,972 (+100.6%)
親会社株主に 帰属する 純利益	2,918	3,090	4,841 (+56.7%)

売上総利益率	37.3%	39.2%	40.4%
営業利益率	8.7%	7.8%	13.1%
純利益率	6.1%	6.9%	9.1%
ROE	8.8%	9.0%	12.8%

(百万円)

対前期収益 主要変動要因

- ・戦略製品（高機能シール製品・機能樹脂特殊タンク製品）の拡販等を反映し、売上高が伸長
- ・売上高増加と効率化施策の効果により、営業利益が大幅に拡大

- ・“ポストCOVID-19”を展望した事業体制の再構築を推進
- ・企業基盤整備に向けた投資を実行
 - …DX推進に向けた開発
 - …国内販売のプロセス改革と拠点の見直し

連結業績半期推移

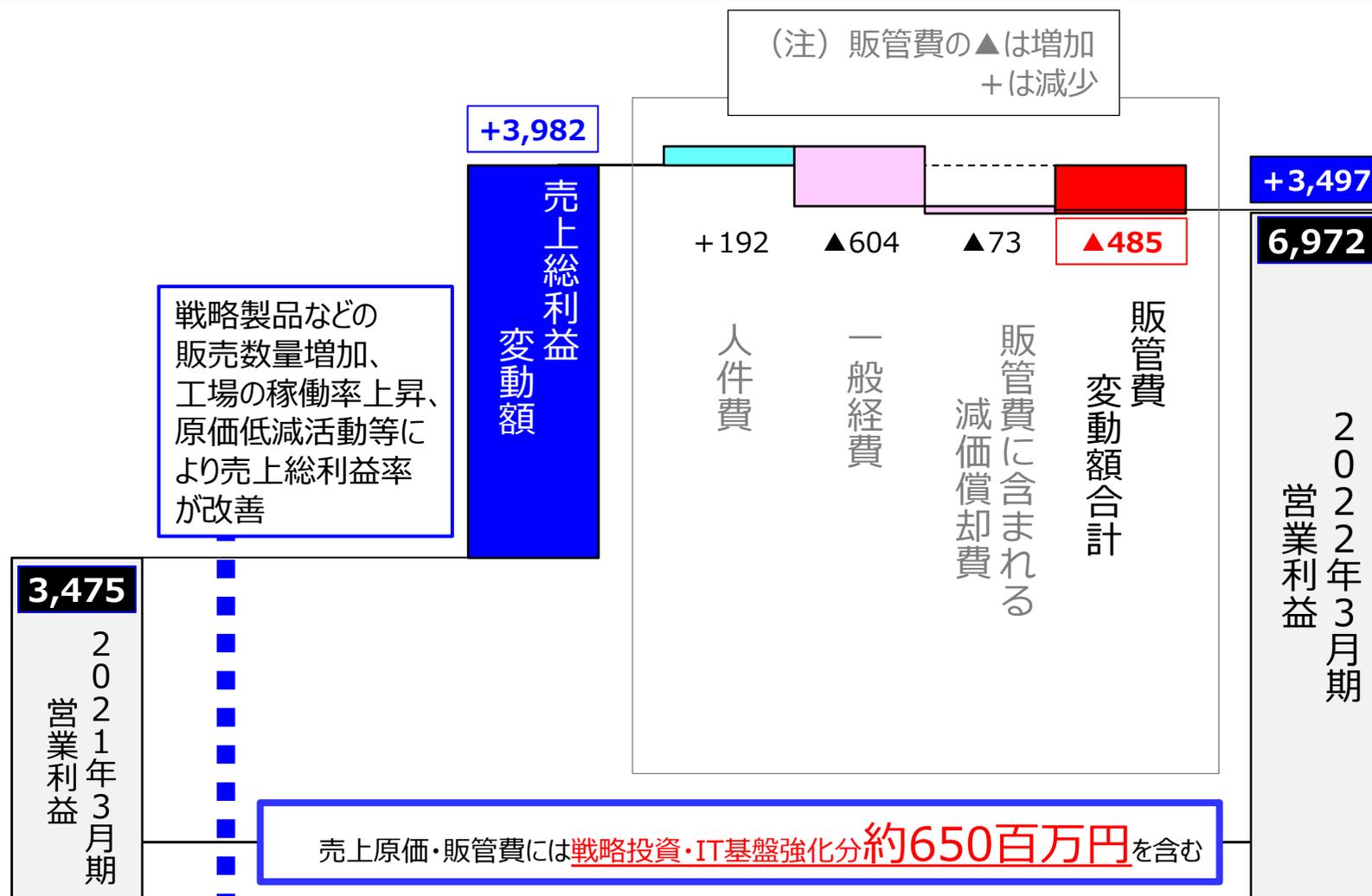
2022年3月期
連結決算・事業概況

	2019年3月期 3-4Q	2020年3月期 1-2Q	2020年3月期 3-4Q	2021年3月期 1-2Q	2021年3月期 3-4Q	2022年3月期 1-2Q	2022年3月期 3-4Q
売上高	25,159	24,915	23,296	21,630	23,086	24,740	28,426
売上総利益	9,209	9,447	8,527	8,624	8,893	9,801	11,698
販売管理費	6,806	6,902	6,857	6,938	7,103	7,104	7,422
営業利益	2,402	2,545	1,669	1,685	1,789	2,696	4,276
親会社株主に 帰属する 純利益	1,733	1,816	1,101	1,803	1,287	1,916	2,924
売上総利益率	36.6%	37.9%	36.6%	39.9%	38.5%	39.6%	41.2%
営業利益率	9.5%	10.2%	7.2%	7.8%	7.8%	10.9%	15.0%
純利益率	6.9%	7.3%	4.7%	8.3%	5.6%	7.7%	10.3%

(百万円)

営業利益変動要因分解

2022年3月期
連結決算・事業概況



売上高 変動内訳	市場別	先端産業市場 + 58億円、機器市場 + 20億円、プラント市場 + 6億円
	地域別	国内 + 41億円、海外 + 43億円

(百万円)

バランシート／キャッシュ・フロー

2022年3月期
連結決算・事業概況

バランシート

資産の部				負債・純資産の部			
	2020年3月期 末	2021年3月期 末	2022年3月期 末		2020年3月期 末	2021年3月期 末	2022年3月期 末
流動資産	26,811	29,698	34,935	流動負債	10,517	10,764	13,336
固定資産	21,317	22,993	25,264	固定負債	2,680	4,653	5,883
総資産	48,128	52,691	60,200	負債合計	13,197	15,417	19,220
				純資産	34,930	37,274	40,979
				負債純資産 合計	48,128	52,691	60,200

(百万円)

キャッシュ・フロー

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
営業CF	5,121	4,586	5,227
投資CF	▲2,799	▲2,323	▲3,695
フリーCF	2,321	2,262	1,532

自己資本	33,334	35,647	39,728
自己資本比率	69.3%	67.7%	66.0%

有利子負債	3,071	4,153	5,173
ネット 有利子負債	▲3,572	▲3,946	▲2,970
DER	0.09倍	0.12倍	0.13倍

市場別売上高・地域別売上高

2022年3月期
連結決算・事業概況

市場別売上高

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
先端産業市場	157億円	165億円	223億円 (+35.2%)
機器市場	169億円	146億円	166億円 (+13.7%)
プラント市場	152億円	133億円	139億円 (+4.5%)

先端産業：半導体製造装置、半導体ファブ、FPD関連、電子部品等
 機器：産業機械、建設機械、造船、航空機、自動車、官公庁等
 プラント：重化学工業プラント（新設・メンテナンス）、電力・ガス等

(備考)

3市場合計値と連結売上高との差額は、端数と“その他市場”による

地域別売上高

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
国内	33,958	30,483	34,583 (+13.4%)
国内比率	70.4%	68.2%	65.0%
海外	14,253	14,233	18,583 (+30.6%)
海外比率	29.6%	31.8%	35.0%
アジア	9,859	9,085	13,530 (+48.9%)
北米	4,233	4,988	4,886 (▲2.0%)
その他	161	159	167 (+4.9%)

(百万円)

- ▶ 先端産業市場向けはSPE・デバイスとも伸長
- ▶ COVID-19からの製造業の回復により、機器市場向けが回復

セグメント 業績	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
売上高	32,071	31,349	34,995 (+11.6%)
セグメント 利益	3,360	4,160	5,506 (+32.3%)
利益率	10.5%	13.3%	15.7%

半期 業績	2020年 3月期 3-4Q	2021年 3月期 1-2Q	2021年 3月期 3-4Q	2022年 3月期 1-2Q	2022年 3月期 3-4Q
売上高	15,755	15,398	15,951	16,894	18,100
セグメント 利益	1,472	2,095	2,065	2,305	3,201

受注高	15,932	15,503	15,947	17,859	18,962
期末 受注残高	3,583	3,688	3,684	4,649	5,511

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
市場別売上高 (単位：億円)			
先端産業 市場	88.5	104.0	121.5 (+16.8%)
機器 市場	134.0	118.5	135.5 (+14.3%)
プラント 市場	98.0	90.5	92.0 (+1.7%)

地域別売上高			
国内	24,065	22,407	24,707 (+10.3%)
海外	8,006	8,942	10,287 (+15.0%)
海外比率	25.0%	28.5%	29.4%

(百万円)

セグメント別業績 機能樹脂製品事業

2022年3月期
連結決算・事業概況

- ▶ 先端産業市場向けが国内半導体製造装置・海外デバイスメーカー向けで拡大
- ▶ 生産拠点稼働率の上昇と事業構造改革の効果等により収益性が大きく改善

セグメント 業績	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
売上高	13,089	10,742	15,088 (+40.5%)
セグメント 利益	554	▲588	1,372 (▲→+)
利益率	4.2%	▲5.5%	9.1%

半期 業績	2020年 3月期 3-4Q	2021年 3月期 1-2Q	2021年 3月期 3-4Q	2022年 3月期 1-2Q	2022年 3月期 3-4Q
売上高	6,223	4,936	5,805	6,504	8,584
セグメント 利益	145	▲339	▲249	483	889

受注高	5,909	4,461	6,841	8,214	9,665
期末 受注残高	3,236	2,762	3,797	5,506	6,588

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
市場別売上高 (単位：億円)			
先端産業 市場	42.0	38.0	74.0 (+94.5%)
機器 市場	35.0	27.0	29.5 (+9.3%)
プラント 市場	53.5	42.0	47.0 (+11.9%)

地域別売上高			
国内	8,330	6,689	8,417 (+25.8%)
海外	4,758	4,053	6,671 (+64.6%)
海外比率	36.3%	37.7%	44.2%

(百万円)

- ▶シリコンウエハーリサイクル事業の需要は高水準、4Qに特殊案件の収益を計上
- ▶H&Sなど新規事業の販売は停滞、顧客におけるトライアル件数は増加

セグメント 業績	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
売上高	3,051	2,625	3,082 (+17.4%)
セグメント 利益	299	▲96	93 (▲→+)
利益率	9.8%	▲3.7%	3.0%

半期 業績	2020年 3月期 3-4Q	2021年 3月期 1-2Q	2021年 3月期 3-4Q	2022年 3月期 1-2Q	2022年 3月期 3-4Q
売上高	1,317	1,295	1,329	1,341	1,741
セグメント 利益	51	▲69	▲26	▲91	185

受注高	1,219	1,266	1,316	1,496	1,663
期末 受注残高	225	196	183	339	261

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
市場別売上高 (単位：億円)			
先端産業 市場	26.5	23.0	27.5 (+19.6%)
その他 市場	3.5	2.5	3.0 (+20.0%)

地域別売上高			
国内	1,562	1,387	1,458 (+5.2%)
海外	1,488	1,237	1,623 (+31.2%)
海外比率	48.8%	47.1%	52.7%

(百万円)

セグメント別業績 四半期推移

2022年3月期
連結決算・事業概況

		2021年 3月期3Q	2021年 3月期4Q	2022年 3月期1Q	2022年 3月期2Q	2022年 3月期3Q	2022年 3月期4Q
売上高	連結	11,117	11,968	12,151	12,588	13,949	14,477
	シール	7,726	8,224	8,488	8,405	8,801	9,299
	機能樹脂	2,742	3,063	2,994	3,510	4,481	4,102
	SWR他	649	680	668	672	666	1,075
セグメント 利益	連結	559	1,230	1,157	1,538	1,940	2,335
	シール	845	1,220	1,027	1,277	1,522	1,678
	機能樹脂	▲ 290	41	171	311	452	437
	SWR他	5	▲ 32	▲ 41	▲ 50	▲ 34	219
受注高	連結	11,092	13,013	14,506	13,063	14,475	15,815
	シール	7,429	8,518	8,774	9,084	9,288	9,674
	機能樹脂	2,970	3,870	5,015	3,198	4,515	5,150
	SWR他	692	624	716	779	672	990
受注残高 期末	連結	6,620	7,665	10,020	10,495	11,022	12,360
	シール	3,390	3,684	3,970	4,649	5,136	5,511
	機能樹脂	2,990	3,797	5,818	5,506	5,539	6,588
	SWR他	239	183	231	339	346	261

* SWR他 = シリコンウエハーリサイクル事業他

(百万円)

前四半期比変動要因

受注高

<シール製品事業>

先端産業市場向けの高水準が続く。プラント市場向けも上向く

<機能樹脂製品事業>

台湾新工場の順調な立ち上がりにより、受注を積み増し

受注残高

<シール製品事業>

先端産業市場向けで高水準の状況が継続

<機能樹脂製品事業>

SPE向け加工品と特殊タンク製品の増加を反映

設備投資・研究開発費・原材料価格影響

2022年3月期
連結決算・事業概況

設備投資

- 完工案件
 - ・機能樹脂特殊タンクの生産能力増強
…台湾新工場完工・稼働
 - ・シリコンウエハーリサイクルの品質向上
- 進行中・着工案件
 - ・製品高度化投資（3セグメントとも実施）
 - ・新事業展開、DXの推進に向けたR&D投資

原材料価格変動影響

ふっ素樹脂原料・ゴム原料等の価格上昇により負担が増加（期首想定よりはやや軽い）

▲
価格高騰に備えた原材料在庫の積み増しにより市況影響を抑制、収益性の向上に貢献

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (前期比)
設備投資額	2,907	3,500	4,221 (+20.6%)
<参考> 設備投資額 (着工基準)	3,281	3,549	1,756 (▲50.5%)
減価償却費	2,099	2,466	2,499 (+1.3%)
研究開発費	1,065	1,006	955 (▲5.1%)
研究開発費 比率	2.2%	2.2%	1.8%
原材料価格 変動影響 (負担増)	▲23	▲46	273

(百万円)

業績への影響

生産など企業活動への影響

- ・ASEANの生産拠点で社員の出勤停止等により稼働率が低下
… <今後> 中国・上海のロックダウンによる影響は2023年3月期に反映見込み
- ・国内外とも原材料や部品の入手状況は、下期にやや悪化
… <今後> 一部の原材料はロシアへの経済制裁による影響を受ける可能性

顧客要因による販売への影響

- ・顧客側のサプライチェーンの問題（部品不足）などから機器市場向けの販売にマイナスの影響が発生
- ・先端産業市場向けで世界的なリモートワーク増加等を背景にした需要が継続

今後の対応：事業継続性の強化

- ・地政学的リスクを強く意識した生産拠点の整備
- ・原材料調達先と製造外注先の多様化の推進
- ・COVID-19拡大のような環境下におけるエンゲージメントの堅持など『会社と社員との新たな関係づくり』を目的とする新人事制度等の導入

株主還元

2022年3月期
連結決算・事業概況

	第2四半期末 (中間)配当	期末配当	年間配当	自己株式取得	株主還元性向
2021年3月期	45.0円	50.0円	95.0円		54.2%
2022年3月期	50.0円	75.0円 (予想)	125.0円 (予想)		45.6% (予想)
2023年3月期 (予想)	60.0円	60.0円	120.0円		44.2% (配当予想のみ)

配当と自己株式取得をあわせた金額を「株主還元」と設定し、還元総額の親会社株主に帰属する当期純利益に対する比率、すなわち「株主還元性向」の50%を目標としつつ以下の事項を勘案し、株主還元を行う。

- ・将来の企業価値の最大化に向けた設備投資及び研究開発投資並びに戦略的投資の必要性
- ・リスク管理体制の強化や人材開発の拡充などの企業基盤整備並びに事業環境の変動に対する備えの重要性

当社グループの連結株主還元性向は以下の基準を採用

$$\text{連結株主還元性向} = \frac{\text{当年度配当金総額} + \text{当年度業績を基準とした自己株式取得額}}{\text{当年度当期純利益}}$$



- ▷ 2022年3月期
連結決算・事業概況
- ▶ **新中期経営計画NF2023**
概要・経営目標数値・戦略
- ▷ 2023年3月期
予想・計画

中期経営計画

<<2023年3月期—2024年3月期>>

N^{ew}**F**2023
rontier

The logo features the word "New" in a smaller, grey font above the "F" of "NF". The "2023" is in a large, bold black font. Below "NF" and "rontier" are two red diagonal bars pointing downwards and to the right.

前中期経営計画NF2022総括

<2020年11月公表>

	NF2022 目標数値	2022年3月期 業績
	2023年 3月期	
売上高	55,000	53,167
営業利益	5,500	6,972
親会社株主に 帰属する 純利益	3,700	4,841
営業利益率	10.0%	13.1%
ROE	10.0% 以上	12.8%

(百万円)

実績 過去最高の連結業績を記録
利益目標数値を1期前倒して達成

- ▶ **先端産業市場向け戦略製品の強化**
 - ・製品競争力の向上
 - ・供給能力の拡大
- ▶ **機能樹脂製品事業の構造改革の推進**
 - ・戦略製品への経営資源集中
 - ・組織のスリム化
- ▶ **合理化・効率化施策の実行**
 - ・国内外販売体制の見直し
 - ・新生産技術の導入

■ 2021年3月期・2022年3月期

NF2022 経営目標数値の達成／主要戦略の順調な進捗

■ 2023年3月期・2024年3月期

NF2023 既存事業の強化と新たな価値創造力の獲得

“成長を守る”

将来の持続的な利益成長に向け、大胆な投資を実行

▶ **NF2022の深化**

- ・戦略市場におけるさらなる業容の拡大
- ・事業構造改革の断行

▶ **主要戦略の拡充**

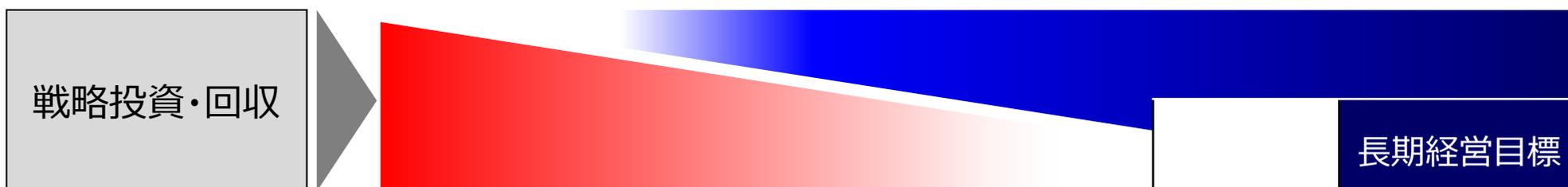
- ・M&A、DX等を通じた新領域への参入
- ・リスクの増大に対応したサプライチェーンの改革

■ 2025年3月期 ▶ 2027年3月期（創業100周年期）

“新たな価値を創造し続ける企業”の実現

NF2023の位置づけ

2021年3月期・2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
NF2022	NF2023				創業 100周年期



長期経営目標の達成を
より確かなものに

	長期経営目標
売上高	800億円
ROE	15%以上

激変する世界情勢の中、
「THE VALQUA WAY」のもと顧客の信頼に応え、
H(Hard)&S(Service)の両輪で
新たな価値を創造し続ける企業を目指そう

1. 大胆なM&Aや業務提携の加速による新素材・新市場・新事業への参入
2. 地政学リスクの増大に対応したサプライチェーン改革の断行
3. 継続的な顧客価値を生み出すAI/ITソリューションの事業確立
4. 新たなビジネス領域へ展開するための研究開発と人材育成の加速
5. 既存事業をより強化するための設備投資の増強と販売チャネルの拡充

経営目標数値・期間中業績

	NF2022 最終年度
	2022年3月期
売上高	53,167
営業利益	6,972
親会社株主に 帰属する 純利益	4,841
営業利益率	13.1%
ROE	12.8%

NF2023				
2023年3月期		2024年3月期		
予想値	前期比	目標数値	2か年変動	前期比
56,000	+5.3%	70,000	+31.7%	+25.0%
6,500	▲6.8%	7,500	+7.6%	+15.4%
4,800	▲0.8%	5,000	+3.3%	+4.2%
11.6%	▲1.5pt	10.7%	▲2.4pt	▲0.9pt
12.1%	▲0.7pt	12.0%	▲0.8pt	▲0.1pt

(百万円)

1. 大胆なM&Aや業務提携の加速による 新素材・新市場・新事業への参入

- ▶ 熱伝導材料、水素シールなど高成長素材領域への参入
- ▶ 半導体市場における環境規制対応の製品開発
- ▶ センシング/IoT領域への新技術獲得と市場展開

2. 地政学リスクの増大に対応した サプライチェーン改革の断行

- ▶ 戦略製品のサプライチェーン再構築
- ▶ 地政学リスクに対応したサプライチェーンの強靱化

3. 継続的な顧客価値を生み出す

AI/ITソリューションの事業確立

- ▶ 樹脂素材・加工品領域におけるネットワークビジネス化
- ▶ AIを基軸とした新規事業展開（プラント保守進捗管理、設備・機器遠隔監視ソリューション）
- ▶ マテリアルズ・インフォマティクス（MI）の導入による開発の加速

4. 新たなビジネス領域へ展開するための

研究開発と人材育成の加速

- ▶ 開発実行プロセスのアップグレードと新たな組織体系の導入
- ▶ 外部技術・人材の獲得も含めたR&D体制の拡充

5. 既存事業をより強化するための 設備投資の増強と販売チャネルの拡充

- ▶ 半導体製造装置メーカーとの接点強化を目的とした拠点の設置
- ▶ 成長市場に向けた戦略製品（高機能シール
ふっ素樹脂タンク）の生産能力の拡大
- ▶ 代理店の高度活用による国内販売網強化

1. 大胆なM&Aや業務提携の加速による
新素材・新市場・新事業への参入
2. 地政学リスクの増大に対応した
サプライチェーン改革の断行
3. 継続的な顧客価値を生み出す
AI/ITソリューションの事業確立
4. 新たなビジネス領域へ展開するための
研究開発と人材育成の加速
5. 既存事業をより強化するための
設備投資の増強と販売チャネルの拡充

2か年総額

150億円
の投資を計画

M&A投資枠

80億円程度
(全領域合計)

高機能シール製品の“生・販・技”機能の強化

- 製造：生産拠点の能力向上（国内・韓国）
- 販売：人員の増強（国内・米国） 拠点の新設（米国）
- 技術：R&D拠点の能力拡充（米国）

ふっ素樹脂特殊タンク製品の拡充

- 供給能力の“再”増強
- 寿命診断・メンテナンスサービスの拡充



ふっ素樹脂特殊タンク（出荷前の最終検査工程）

顧客の生産拠点・市場成長性・
原材料供給状況等の
変化に応じ、柔軟かつ
速やかに拡大施策を実行

先端産業市場
売上高

2022年3月期
223億円



2024年3月期
310億円

“限界コストゼロ”による顧客層の拡大

■ ウェブプラットフォームによる製品の販売

- …『見積もり→受注→製造→納品→計上』の全プロセスにおける工数削減の実現
- …小ロット需要などに対する対応力が強化
- …人材の有効活用による新規顧客の開拓が可能

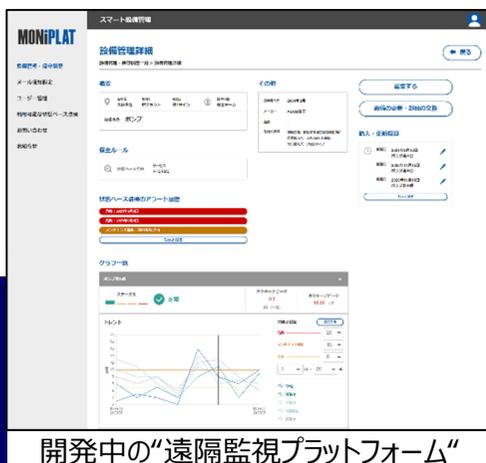


運用を開始している機能樹脂素材専用サイト

AIソリューションの展開によるH&S案件の事業化

■ “ハードを超えた保守ソリューション”の開発

- …AIベンチャー企業Ridge-iとの資本業務提携を起点とする開発の加速（バルカーの知見とAIとの融合）



開発中の“遠隔監視プラットフォーム”

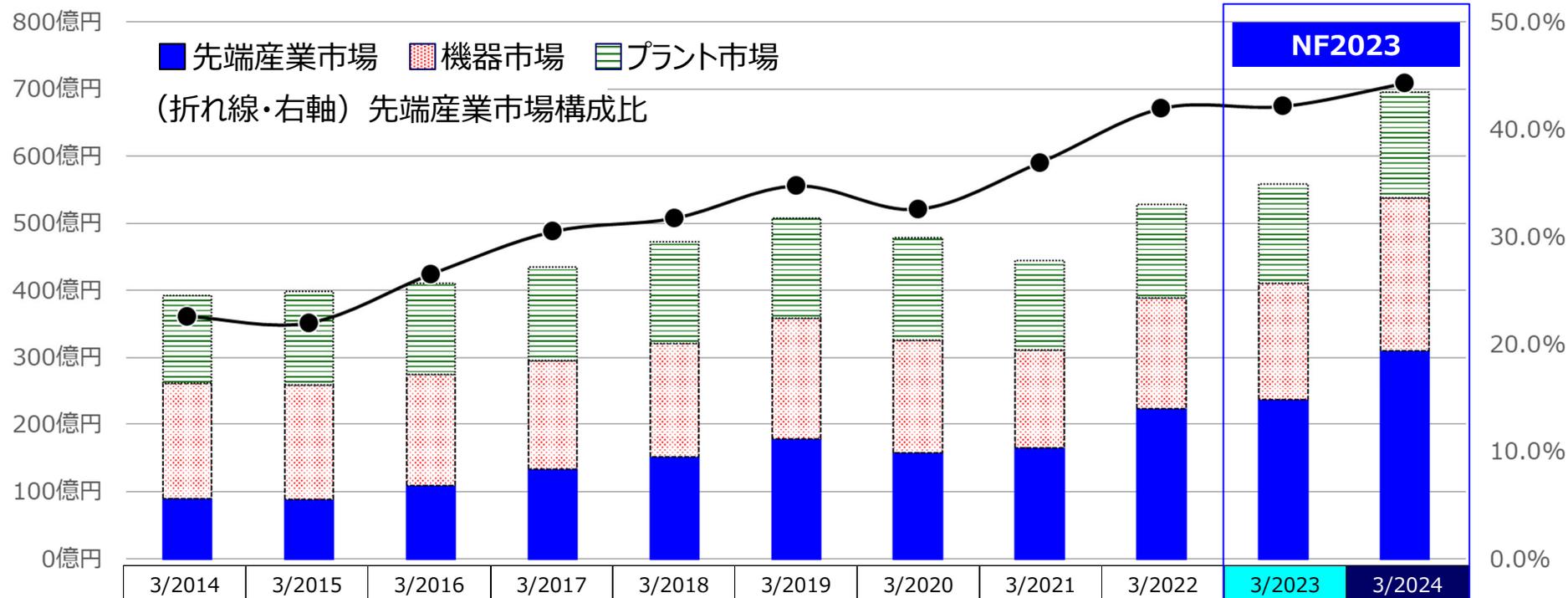
H&S事業
・新事業
売上高

2022年3月期
2億円



2024年3月期
10億円+a

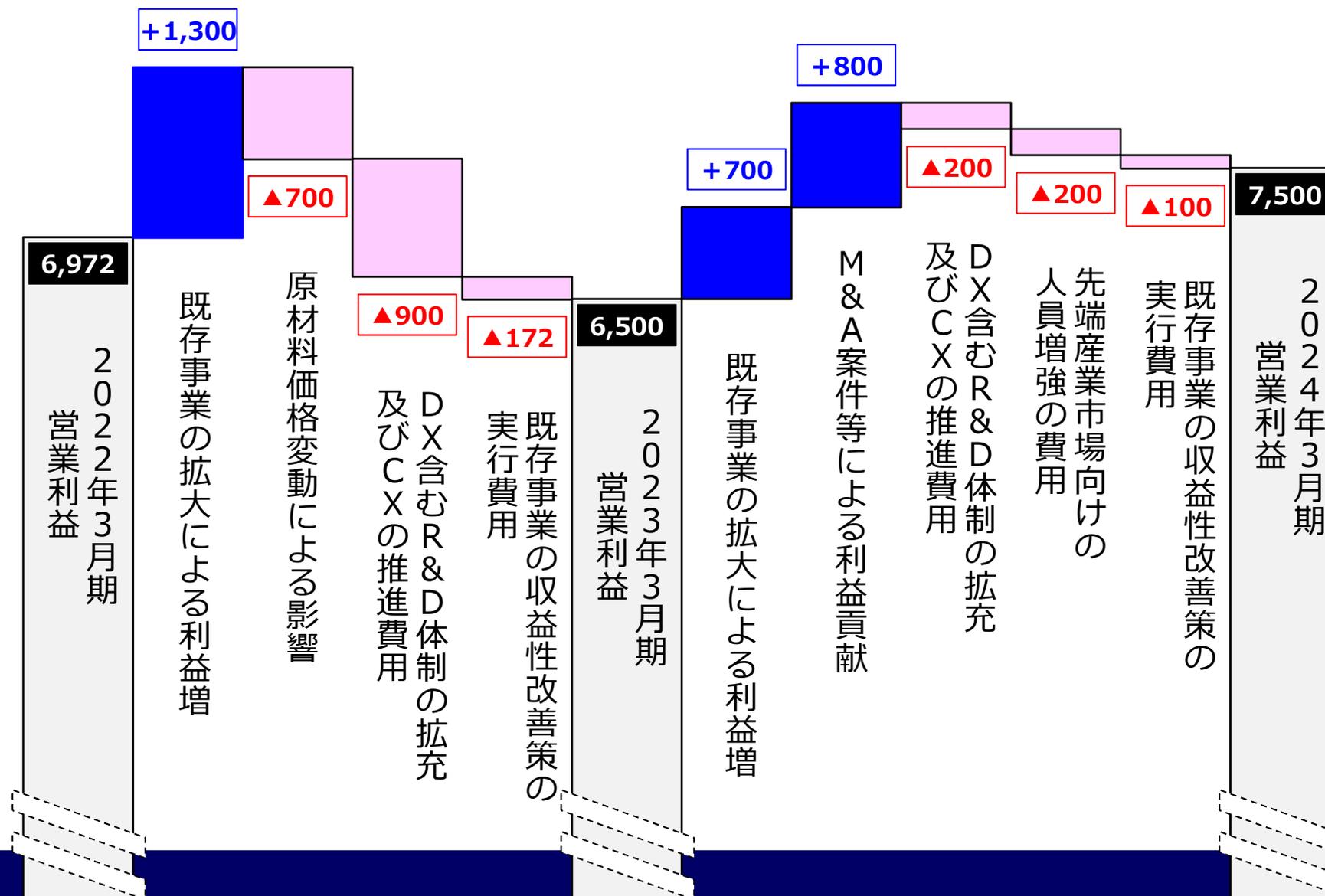
市場別売上高構成



2024年3月期

- 先端産業市場向け比率が每期40%超
- H&S事業・新事業販売が各市場向けで拡大

営業利益変動要因分解（2か年）



バランスシート NF2022最終年度

2022年3月期

流動資産	349	流動負債	133
		固定負債	58
固定資産	252	負債合計	192
		純資産	409
総資産	602	負債純資産合計	602
有利子負債	51	自己資本	397
ネット有利子負債	▲29	自己資本比率	66.0%
DER	0.13倍		

バランスシート NF2023最終年度 計画値

2024年3月期

流動資産	520	流動負債	280
		固定負債	170
固定資産	380	負債合計	450
		純資産	450
総資産合計	900	負債純資産合計	900
有利子負債	220	自己資本	440
ネット有利子負債	110	自己資本比率	48.9%
DER	0.50倍		

<<億円>>

キャッシュ・フロー NF2022期間合計

営業CF	98
投資CF	▲60
フリーCF	38

キャッシュ・フロー NF2023期間合計 計画値

営業CF	150
投資CF	▲190
フリーCF	▲40

<<億円>>

	NF2022 最終年度	NF2023 最終年度	
	2022年3月期	2024年3月期	
		計画値	2か年変動
市場別売上高			
先端産業市場	223億円	310億円	+39.0%
機器市場	166億円	228億円	+37.3%
プラント市場	139億円	158億円	+13.7%

地域別売上高			
国内	34,583	46,900	+35.6%
海外	18,583	23,100	+24.3%
海外比率	35.0%	33.0%	▲2.0pt

		NF2022 最終年度	NF2023 最終年度	
		2022年3月期	2024年3月期	
			計画値	2か年変動
セグメント業績				
シール製品事業	売上高	34,995	42,700	+22.0%
	セグメント利益	5,506	6,000	+9.0%

機能樹脂製品事業	売上高	15,088	16,800	+11.3%
	セグメント利益	1,372	1,400	+2.0%

SWR事業他	売上高	3,082	10,500	+240.7%
	セグメント利益	93	100	+7.5%

■ 本ページの3表にはいずれもM&Aによる増分を含む。

(百万円)



- ▷ 2022年3月期
連結決算・事業概況
- ▷ 新中期経営計画NF2023
概要・経営目標数値・戦略
- ▶ 2023年3月期
予想・計画

事業環境認識（2022年3月期からの変動）

2023年3月期
予想・計画

旺盛な需要はあるものの、半導体・部品不足などの影響が懸念される

	環境認識	業績への影響
先端産業市場	<ul style="list-style-type: none">半導体デバイスは生産設備のフル稼働が続く。半導体設備投資は高水準が見込まれるものの、計画見直しのリスクがある。	<ul style="list-style-type: none">シール製品事業機能樹脂製品事業SWR事業その他
機器市場	<ul style="list-style-type: none">一般産業機器と自動車は半導体・部品不足による生産の停滞が懸念される。	<ul style="list-style-type: none">シール製品事業機能樹脂製品事業
プラント市場	<ul style="list-style-type: none">国内大規模メンテナンスは案件が増加。高機能素材の生産設備への投資は引き続き堅調。	<ul style="list-style-type: none">シール製品事業機能樹脂製品事業

■ ■ 2023年3月期には前期以上の不透明要素が存在 ■ ■

- ・ロシアによるウクライナ侵攻の影響（ロシアと各国とのさらなる関係悪化）
- ・原材料価格及び物流コストの一段の上昇
- ・急激な外国為替の変動
- ・半導体及び各種部品の需給バランスのさらなる悪化
- ・中国などにおけるロックダウンの長期化とCOVID-19の再拡大

	2022年3月期	2023年3月期 予想 (前期比)
売上高	53,167	56,000 (+5.3%)
営業利益	6,972	6,500 (▲6.8%)
親会社株主に 帰属する 純利益	4,841	4,800 (▲0.8%)
営業利益率	13.1%	11.6%
ROE	12.8%	12.1%

(百万円)

策定前提

- * 2022年3月期4Qの景況を基本に、事業リスクを一定程度考慮し、策定
- * 予想の前提為替レートは1米ドル=120円
- * 原材料価格変動による営業利益へのマイナス影響は7億円を想定

設備投資・R&D投資計画

	2022年3月期	2023年3月期 計画
設備投資額	4,221	4,400
減価償却費	2,499	2,600
研究開発費	955	1,000

市場別・地域別売上高、セグメント計画値

2023年3月期
予想・計画

	2022年3月期	2023年3月期	
		計画値	前期比
市場別売上高			
先端産業市場	223億円	236億円	+5.8%
機器市場	166億円	175億円	+5.4%
プラント市場	139億円	148億円	+6.5%

地域別売上高			
国内	34,583	36,200	+4.7%
海外	18,583	19,800	+6.5%
海外比率	35.0%	35.4%	+0.4Pts

		2022年3月期	2023年3月期	
			計画値	前期比
セグメント業績				
シール製品事業	売上高	34,995	36,500	+4.3%
	セグメント利益	5,506	5,400	▲1.9%

機能樹脂製品事業	売上高	15,088	16,500	+9.4%
	セグメント利益	1,372	1,300	▲5.2%

SWR事業他	売上高	3,082	3,000	▲2.7%
	セグメント利益	93	▲200	+→▲

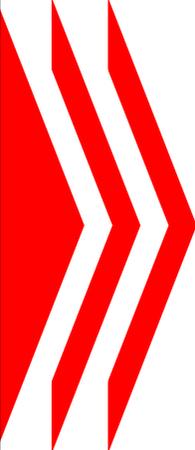
(百万円)

創業100周年に向けて – ありたい企業像 –

▶ 創業100周年のありたい企業像

未来と未知に挑むチャレンジングな企業

– 人類の豊かさと地球環境に貢献するために –

- 
1. あくなき成長戦略の追求とモニタリング
 2. 成長をゆるぎないものにする経営基盤の強化
 3. より良き地球市民として「環境・社会・企業統治」への積極的な取り組み

創業100周年に向けて – 長期経営目標 –

▶ チャレンジなくして到達し得ない
高い水準の目標を設定

	<基点期> 2020年3月期	2027年3月期	期間変動 平均年間変動
売上高	482億円	800億円	65.9%
ROE	8.8%	15.0%	+6.2pt

- ▶ 新事業・新分野への意欲的な展開
- ▶ M&A・提携の積極的な実施
- ▶ 資本効率と財務健全性との最適バランスの追求
- ▶ SDGsを強く意識した企業活動の実践





THE VALQUA WAY

**Value
& Quality**
(価値の創造と
品質の向上)

基本理念

- ・社会の発展のために
- ・正正堂堂と
- ・世界中のステークホルダーへ
- ・独創的技術で

4つの
経営理念

行動指針
10項

- (1) 事業を通じた社会への貢献
- (2) 顧客感動の提供
- (3) 人格と個性の尊重
- (4) 株主との信頼関係の構築
- (5) 地域社会との共生
- (6) 安全衛生は全てに優先
- (7) コンプライアンス遵守と誠実な行動
- (8) 環境にやさしいモノづくり
- (9) 資産の保全と有効活用
- (10) チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり



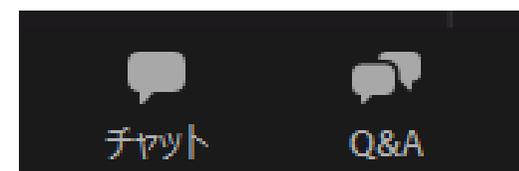
株式会社バルカー

説明会 ▶ 2022年3月期決算
▶ 中期経営計画NF2023

16:00より開始いたします。今しばらくお待ちください。

〈ご連絡・ご依頼事項〉

- * 資料は当社ホームページに本日公開いたしました。
お手許にご用意のうえ、ご参加ください。
- * 説明会後半に質疑応答を行います。
- * ご質問はQ&A機能にてお受付いたします。
(匿名でお受けいたします。また、お名前等を読み上げることはいたしません)
- * トラブル（音声など）に関してはQ&A機能によりお知らせください。
(チャット機能はお使いになれません)
- * 説明会終了後、アンケートへのご協力をお願いいたします。



チャット機能は使用
しないでください